

大阪湾漁場環境速報

平成28年4月7日発行
兵庫のり研究所

湾全域において小型珪藻の発生はほとんど見られませんが、一時上昇していた栄養塩濃度は特に表層において再び低下しています。本日の気圧通過に伴い、風波による海水混合や降雨による栄養塩供給が見込まれ、漁場環境の好転が予想されます。

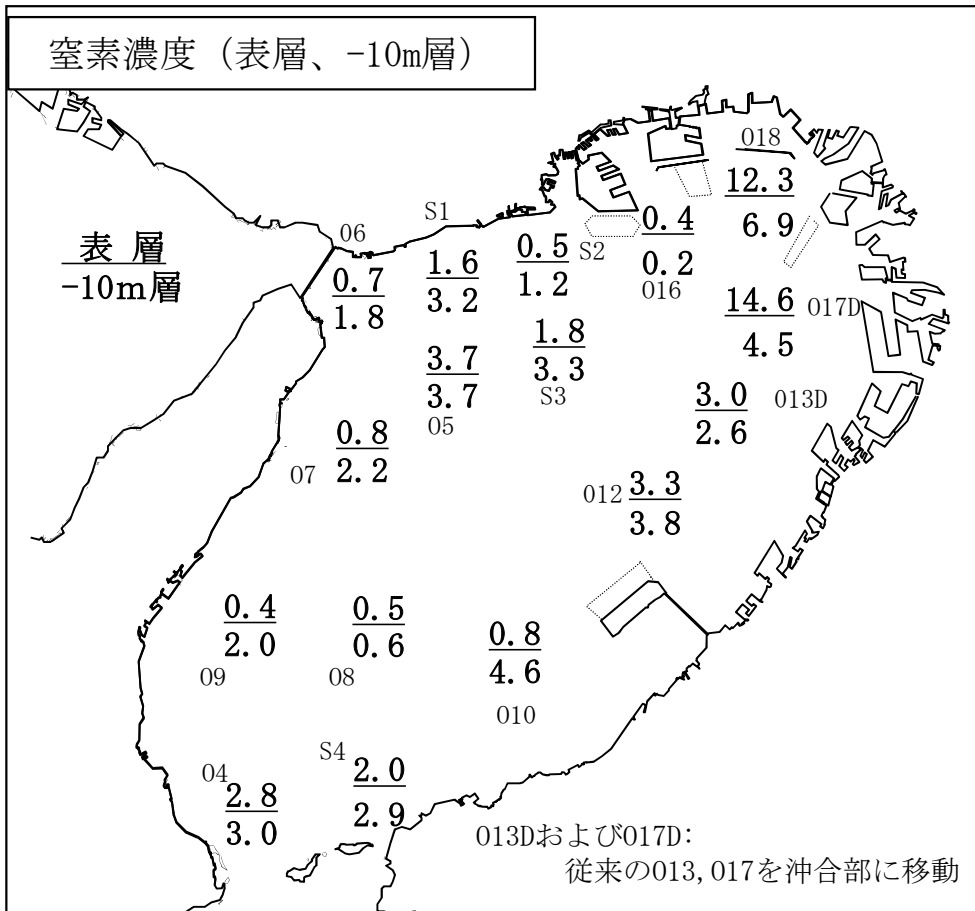
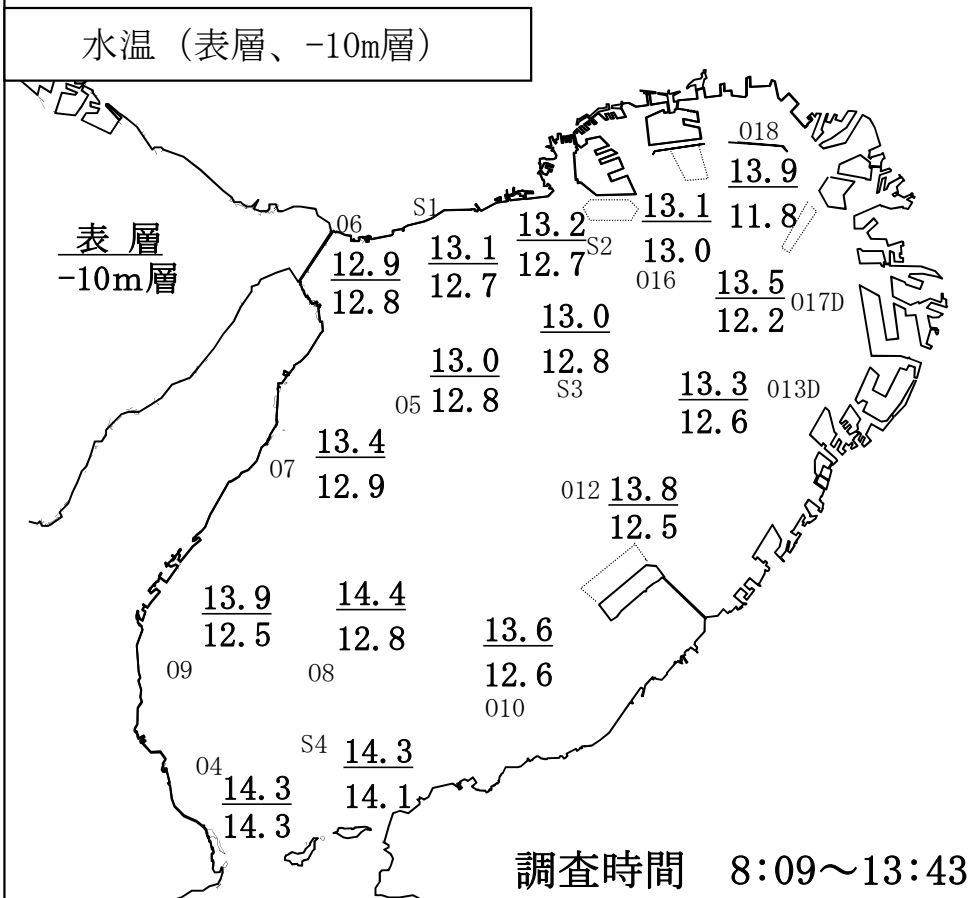
(水温) 表層は湾内12~14℃台で、平均13.5℃。平年比1.7℃、昨年比0.6℃ともに高い。-10m層は平均13.0℃ (平年比+1.7℃)。

(塩分) 表層平均31.81psu(平年 31.09)。-10m層平均32.30psu(平年 32.07)。

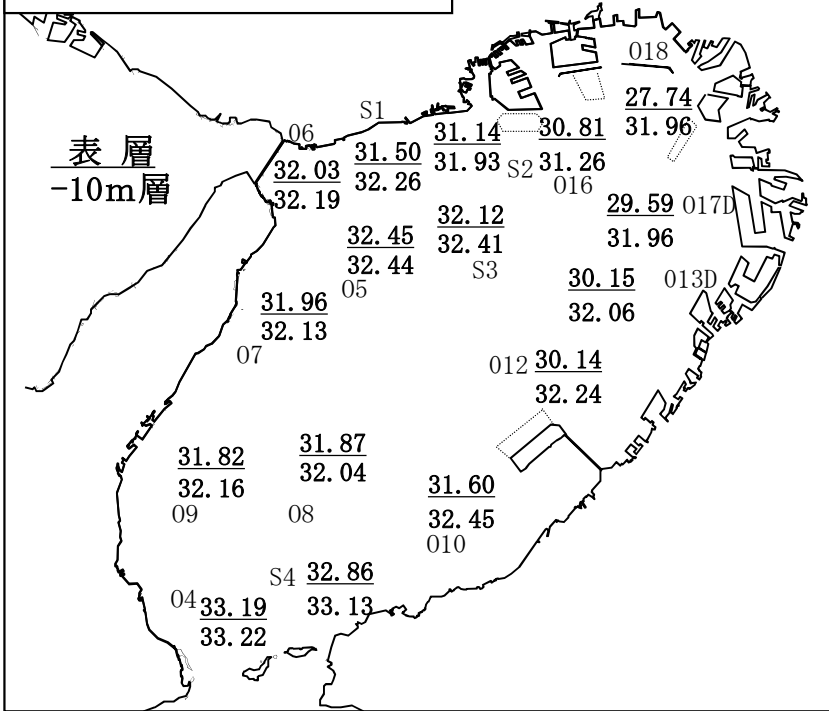
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均1.5μg-at/L、リンは平均0.15μg-at/L。窒素(平年3.7)・リン(平年0.19)ともに低い値を示している。-10m層(平均)は、窒素2.5μg-at/L・リン0.24μg-at/Lでありほぼ平年並の値であった。湾奥部を中心として湾全域において数種の渦鞭毛藻が認められた。関西空港南の調査地点においてスケルトネマ・キートセロスが確認された以外は珪藻はほとんど認められなかった。

上段 (今回値)	平成28年4月6日調査
中段 (昨年値)	平成27年4月6日調査
下段 (平年値)	4月上旬

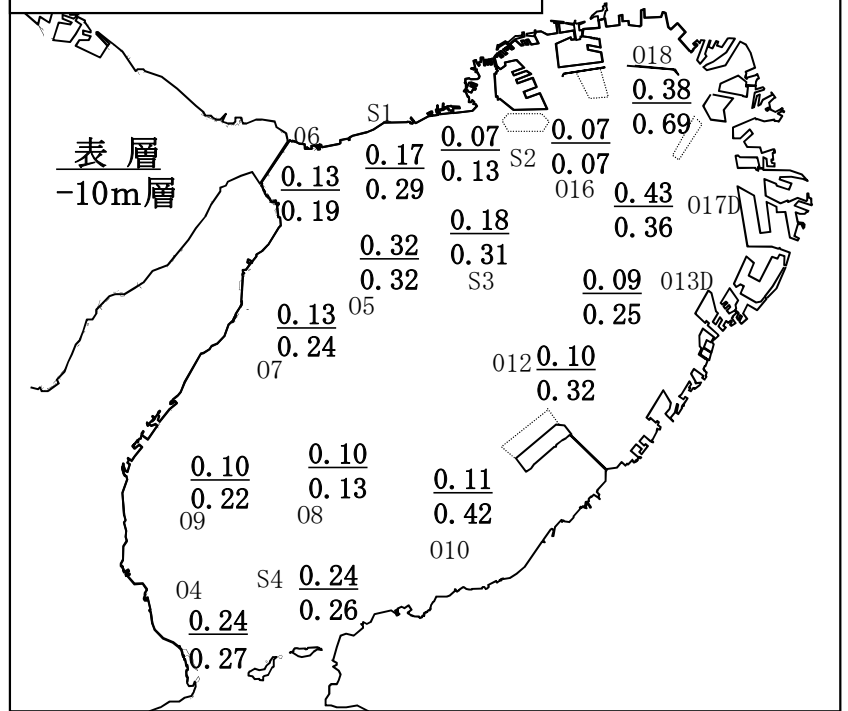
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	燐酸 (μg-at/L)
04	14.3	33.19	2.8	0.24
	12.9	32.43	3.7	0.26
	12.5	32.65	3.4	0.30
05	13.0	32.45	3.7	0.32
	12.0	31.79	3.3	0.25
	11.5	31.82	2.5	0.21
06	12.9	32.03	0.7	0.13
	13.5	28.38	6.9	0.08
	11.2	31.18	4.0	0.23
07	13.4	31.96	0.8	0.13
	12.2	31.63	3.9	0.21
	12.0	31.78	2.1	0.20
08	14.4	31.87	0.5	0.10
	12.6	31.31	0.9	0.08
	12.2	31.85	1.9	0.20
09	13.9	31.82	0.4	0.10
	13.0	31.67	0.9	0.08
	12.1	32.00	5.8	0.37
010	13.6	31.60	0.8	0.11
	12.9	30.87	2.6	0.10
	11.8	31.24	1.3	0.10
012	13.8	30.14	3.3	0.10
	13.4	30.32	4.5	0.06
	11.6	30.46	2.2	0.10
013D	13.3	30.15	3.0	0.09
	13.2	29.28	4.1	0.06
	11.7	29.67	3.5	0.10
016	13.1	30.81	0.4	0.07
	13.7	25.13	17.4	0.19
	11.6	27.33	11.8	0.14
017D	13.5	29.59	14.6	0.43
	13.3	26.55	33.6	0.41
	11.9	26.68	37.3	0.51
018	13.9	27.74	12.3	0.38
	14.1	21.30	31.3	0.65
	12.1	21.83	43.9	0.90
S1	13.1	31.50	1.6	0.17
	13.1	30.22	5.1	0.08
	11.3	30.53	4.5	0.18
S2	13.2	31.14	0.5	0.07
	13.5	27.02	8.3	0.08
	11.2	29.47	4.2	0.12
S3	13.0	32.12	1.8	0.18
	12.0	31.66	2.7	0.23
	11.8	31.51	2.3	0.17
S4	14.3	32.86	2.0	0.24
	13.1	32.26	3.3	0.24
	12.3	32.34	2.1	0.20



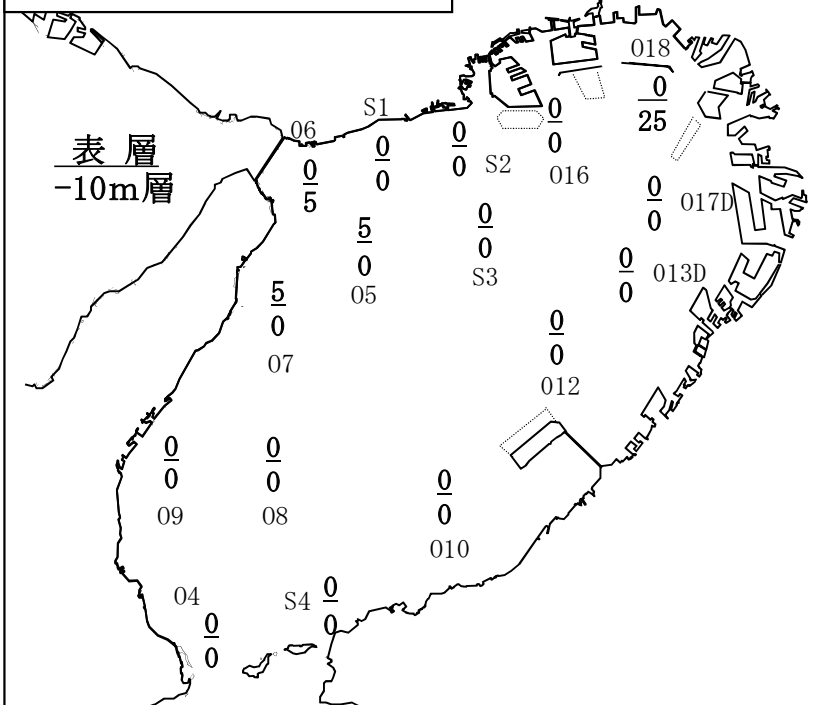
塩分 (表層、-10m層)



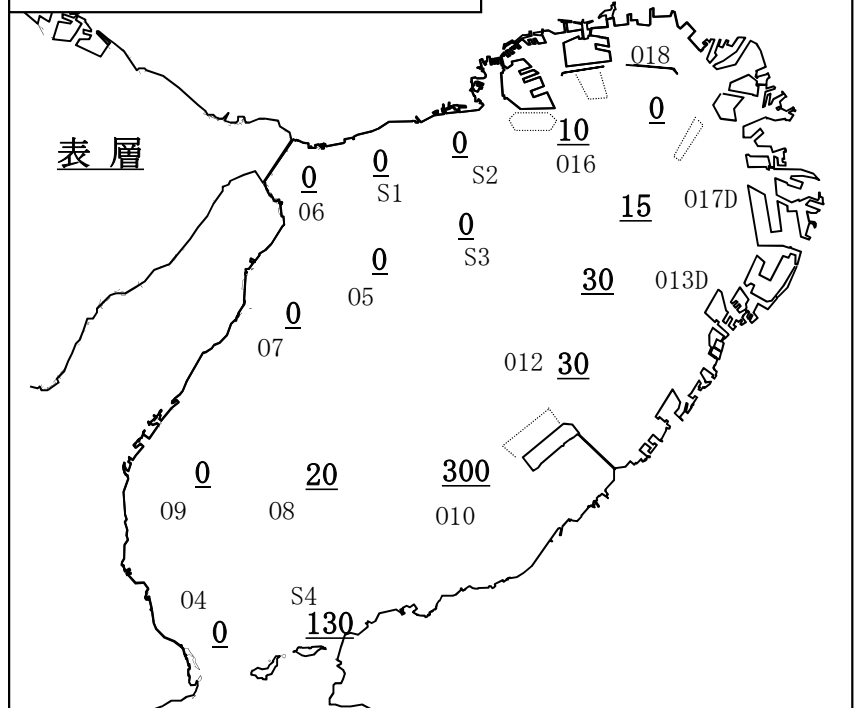
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

